

# ダニ『ライム病』に注意！

屋外で遊ぶ機会が増える季節には、ダニの感染症に注意が必要です。ダニに噛まれると様々な病原体(ウイルス・細菌)に感染する恐れがあります。国や地域によって異なりますが、代表的なのは『ライム病』です。英国のライム病(Lyme Disease)発生件数は年間約3千人ですが、診断を受けていない疑わしい症例を含めると、1万5千人程度とされています。

● 原因菌、感染経路

ライム病には原因菌(Borrelia burgdorferi)を保菌するダニ(Ixodes tick)に噛まれることで感染します。ダニは通常、動物(牛、キツネ、シカ、馬、犬、猫など)の血液を吸って成長します。動物などから振り落とされて、草むら、しげみなどに生息しています。都会の公園や野原、山林、自宅の庭などにもいます。ダニ自身は飛べないので、洋服や肌にこすれることで人間に接触します。皮膚に24時間程度くっついてから人体を噛み、病原体が体内に入ると感染リスクが高くなります。

● 症状

症状は3段階(感染初期、播種期、慢性期)に分かれて出現します。感染初期にはインフルエンザのような症状がみられます。発熱、頭痛、倦怠感、関節痛、悪寒を伴い、特徴的な紅斑が現れます(写真)。これは遊走性紅斑といって、ダニに噛まれたところを中心に現れることが多いです。播種期は病原体が体内に広がり、より重篤な神経症状、心疾患、眼疾患などが上記の症状に加えて出現します。慢性期は播種期から数ヶ月から数年後に現れる症状で、重度な皮膚症状、関節炎などです。



● 診断と治療

ライム病が疑わしい場合は、血液中に原因菌の抗体があるか測定して確認します。治療には抗生剤を用います。内服期間は感染時期によって異なります。

● もし噛まれたら

ダニはポピーの種くらいの大きさで、血を吸うと大きくなります。潰したり無理やり引き抜こうとするとダニの体内にある病原体を一気に皮膚に注入する恐れがありますので、ダニ専用のremoverを使って皮膚から取り除くことをお勧めします。もし専用removerがなければ細かいピンセットで、なるべく皮膚の近いところで摘んで取り除き、決して潰さないように注意してください。除去後は患部を消毒してください。



● 予防

公園、森林、野原などには虫除けスプレーを持参し、服装は、長袖・長ズボンが望ましいです。ハイキング・トレイルなど定められたところを歩き、お子さんは首、頭などをチェック。家に入る前に再度確認して絶対に家に持ちこまないようにする。

● 最後に

菌を保菌しているダニは全体の10%程度で、ダニに噛まれたら即ライム病ということではありません。紅斑や風邪っぽい症状が出たら診断を受け、検査で感染の有無を確認してから治療を受けてください。

英国内で特にダニの感染症が多く見られる地域

- Exmoor
- The New Forest and rural areas of Hampshire
- The South Downs
- Parts of Wiltshire and Berkshire
- Parts of Surrey and West Sussex
- Thetford Forest in Norfolk
- The Lake District
- the North York Moors
- the Scottish Highlands



高木 健 (たかぎ けん) 先生  
日本小児科学会専門医

今年8月から日本クラブ診療所勤務。幼少期と医師になってからの通算12年の在米経験がある。8歳と5歳の息子をもつ。アーセナルのファン



## 日本クラブ診療所のご紹介

### ●英国で診療を始めて50年以上

日本クラブ診療所では1965年から日本人医師が日本語で医療を行ってきました。現在は、東京慈恵会医科大学から派遣された日本人医師3名(内科2名・小児科1名)が常勤して、日本と英国の最新医療を提供しています。

### ●健康診断・婦人科検診

成人健康診断は、法定の最低限のものから、詳細な血液検査や超音波検査・バリウム検査を含むものまで幅広いパッケージをご用意しています。また婦人科検診も行っています。

### ●内視鏡検査(胃カメラ・大腸カメラ)

内視鏡検査(胃カメラ・大腸カメラ)は慈恵医大から派遣された日本人医師本人が、病院内の特別施設を使って行っています。

### ●総合病院の中で診療するメリット

日本クラブ診療所は英国でも屈指の私立総合病院の中で診療しています。このためMRIやCTなど国内でも有数の最新設備を利用することができ、薬局も全科対応しています。各種専門医への紹介時は日本人が通訳を行うほか、万一入院が必要となった場合も手続きがスムーズに行えます。

### ●乳幼児定期検診・予防接種

慈恵医大から派遣された小児科専門医が日本と英国の医療事情に精通した上で定期検診と予防接種を行っていますので、お子様が予防接種期間中に渡英・帰国されても安心です。

### ●キャッシュレス

各種旅行傷害保険によりキャッシュレスで診療を受けていただけます。海外派遣員医療保険も取り扱っています。

### ●メンタルヘルスケア

日英の専門資格を持つ日本人精神科医が診療しています。加えて法人会員企業の人事担当者へのアドバイスも行っています。

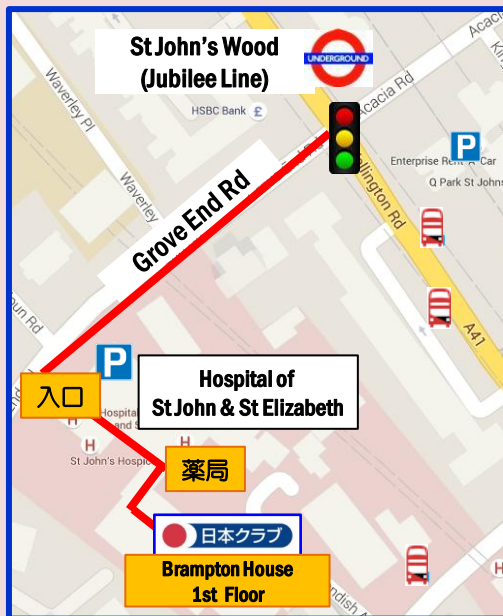
### ●トラベルワクチン

ご出張やご旅行の際に、渡航前に必要となるトラベルワクチンを各種ご用意しています。

### ●ご帰国後のサポート

継続治療中の方がご帰国される場合は、東京慈恵会医科大学病院への紹介を行っていますので、お気軽にご相談ください。

### アクセス (St John's Wood駅から徒歩3分)



### ■ 診療時間 (年末年始・イースター・祝日を除く毎日)

月～金	土曜	日曜
9時～19時	9時～17時	9時半～12時半

今年4月から  
**診療時間**を  
**延長**しました